

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果考察【概要版】

令和7年度 全国学力・学習状況調査から確認できた成果と課題

成果について

☆授業における成果

◎叙述を基に文章全体の内容を捉え、要旨を把握すること ◎基礎的な知識・技能の習得

☆よくできていた問題

- ◎小学校 国語：時間的な順序や事柄の順序を考え、内容の大体を捉えること
算数：異分母の分数の下方の計算をすることや台形の意味や性質について理解すること
理科：電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻き数によって変化すること
- ◎中学校 国語：文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えること
数学：事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ること
理科：電熱線で水を温める学習面において、回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関すること

課題について

★全体について

- 目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること
- 複数の資料から、自分の考えを表すための根拠として必要な情報をまとめること

★各教科について

- 小学校 国語：目的に応じて、文章と図表などを根拠に、自分の考えを記述すること
算数：目的に応じて適切なグラフを選択し、考えの理由を言葉や数を用いて記述すること
理科：科学的事象について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし表現すること
- 中学校 国語：文章の構成や展開について、根拠を明確にし、自分の考えを記述すること
数学：不確定な事象の起こりやすさを捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること
理科：身の回りの事象から生じた疑問や問題を解決するための課題を設定すること

課題解決に向けた今後の市としての取組み

☆目的に応じて、自分の考えをまとめ、伝わりやすいよう工夫して表現する

- ① すべての教科で文章を書く取組みを実施
- ② 資料から必要な情報を選び、書き表し方を工夫する場面の設定
- ③ 話し合い活動では、課題や目的を意識しながら、周りの発言と自分の考えを比較したり、整理して考えをまとめたりする学習活動の設定

☆課題設定や解決に向けて、自分で考え、主体的に取組む授業づくり

- ① 課題解決に向けて、主体的に情報を集めて整理したり、自分の考えをまとめたりする授業の実践
- ② 生活と結び付けて考えたり、活用したりできる場面の設定
- ③ 一人ひとりの興味・関心に沿った課題の設定、学習方法の選択・調整する場面を設定

☆ICT機器を活用した学習活動の充実

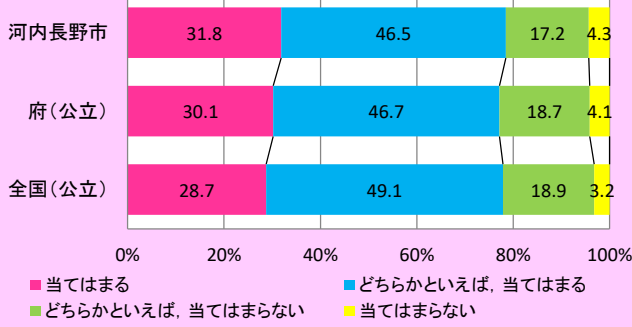
- ① 1人1台端末を活用して他者の意見と比較したり、様々な考えを交流し自分の考えを再構築したりする場面の設定
- ② シンキングツールを用いて考えを整理し、文章の構成を意識しながら、表現を工夫する場面の設定
- ③ 遠隔合同授業を学校間で実施し、小グループで協働して課題解決を図る場面の設定

☆学校全体で組織的に取組む授業改善

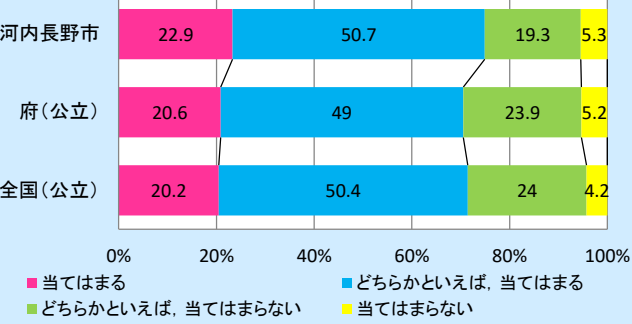
- ① 主体的、対話的で深い学びの視点に立った授業づくり
- ② 目の前の児童生徒の課題に正対した取組み
- ③ 教育活動全体で言語活動の充実

＜学校での授業についての児童・生徒質問事項＞

（小学校）5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか

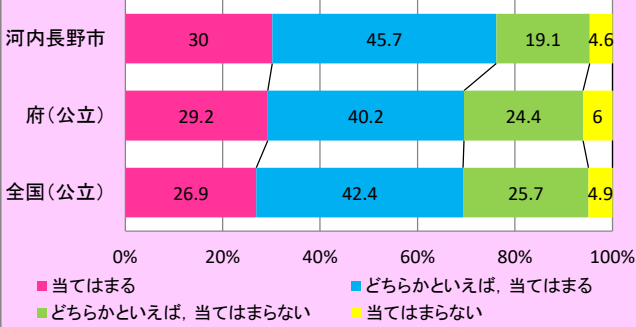


（中学校）1,2年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか

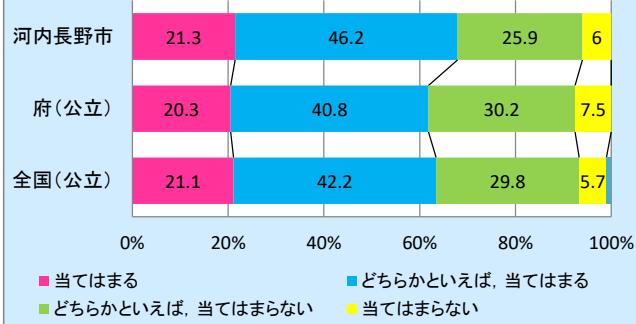


本市課題「目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるようにまとめ表現すること」に関する項目では、肯定的回答が小・中学校ともに国・府とほぼ同様であった。引き続き各校においては、全教科で教科横断的な視点に立った自分の考えを工夫して表現する授業づくりを進めていく。

（小学校）あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができると感じますか

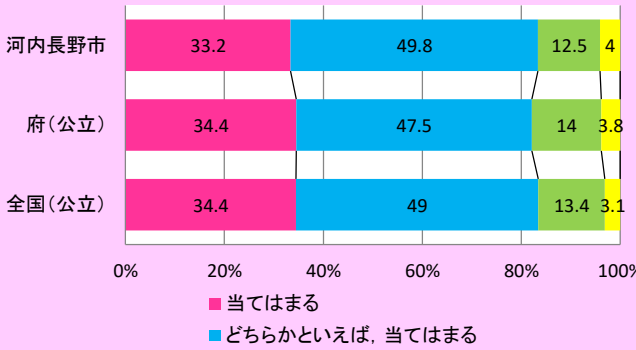


（中学校）あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができると感じますか

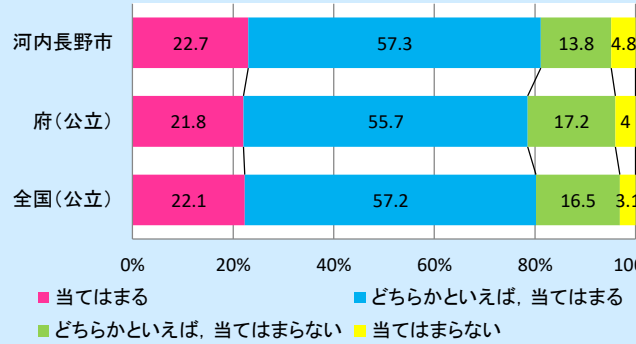


小・中学校ともに、全国同様に1人1台学習者用端末などを積極的に活用した授業が進められていることがうかがえる。今後、さらに他者との意見を比較したり、自分の考えをまとめたりする場面において、効果的な活用を視点に入れた授業づくりを進めていく。

（小学校）5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか



（中学校）1,2年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか



学校で受けた授業において、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていたと、8割を超える児童生徒が肯定的に回答しており、府を上回る結果となった。一方、残りの子どもたちの声にも真摯に傾け、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのないよう、個に応じた学びをさらに充実させ、全ての児童生徒が主体的に学ぶことができるよう授業改善に努めていく。

令和7年度全国学力・学習状況調査について(令和7年4月17日実施)

1. 調査の目的

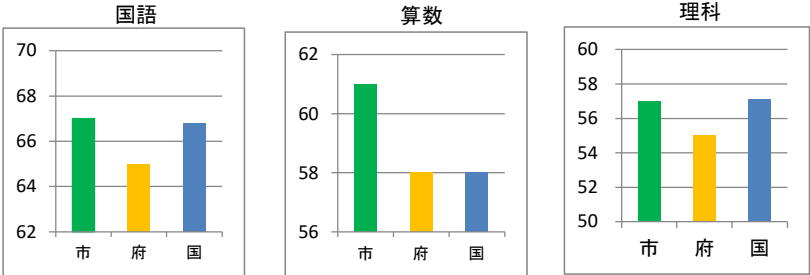
義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査の対象

- (1)国・公・私立学校の以下の学年の原則として全児童生徒を対象とする。
なお、公立学校には公立大学法人が設置する学校を含むものとする。
ア 小学校調査 小学校、義務教育学校前期課程、特別支援学校小学部第6学年
イ 中学校調査 中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程、特別支援学校中学部第3学年
- (2)特別支援学校及び小中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、調査の対象となる教科について、以下に該当する児童生徒は調査の対象としないことを原則とする。
ア 下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒
イ 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている児童生徒

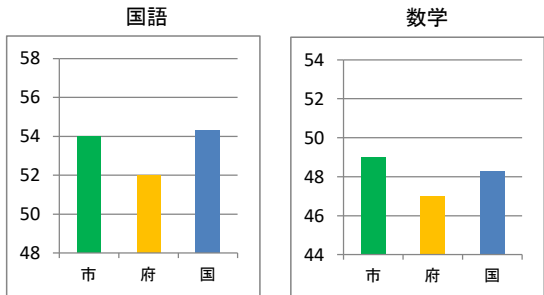
令和7年度全国学力・学習状況調査 平均正答率

小学校



小学校正答率	河内長野	府公立	全国公立
国語	67	65	66.8
算数	61	58	58.0
理科	57	55	57.1

中学校



中学校正答率	河内長野	府公立	全国公立
国語	54	52	54.3
数学	49	47	48.3

理科

	全日程共通の公開問題における		IRTスコア
	平均正答数	無解答率	
河内長野市	2.8問/6問	4.6%	500
大阪府	2.7問/6問	6.1%	487
全国	2.9問/6問	4.6%	503

全日程共通の公開問題における学習指導要領の領域および評価の観点		平均正答率(%)		
領域	エネルギー	河内長野市	大阪府	全国
	粒子	54.6	52.7	51.9
	生命	55.0	53.2	56.8
	地球	30.0	27.7	29.7
評価の観点	知識・技能	34.6	33.5	36.2
	思考・判断・表現	43.4	45	42.2
	思考・判断・表現	51.3	49.1	53.9

※問題は全日程共通と実施日により異なる公開問題、生徒ごとに異なる非公開問題があります。平均正答数の値は、全日程共通の公開問題に絞って記載しています。